

HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.20 no.4

(年間5回刊行・通巻113号)



日本ヘルスケア歯科学会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

Tel. 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 田中正大

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

学会入会金 歯科医師 5,000円

その他 3,000円

学会年会費 歯科医師 12,000円

その他 3,000円

郵便振替口座 00190-7-407895

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

銀行振込口座 三菱東京UFJ 江戸川橋支店

普 0051809

名義 一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

重要なお案内

● 以下の同封物をご確認ください。

1. 2017年度会費振込用紙

当学会の会計年度は、1月から12月までです。2018年度会費の振込用紙を同封いたしましたので、お早めにお払込みくださいますようお願い申し上げます。

2. ヘルスケアミーティング2017案内

3. 福岡ウイステリアセミナー案内

催しものご案内

① 歯科衛生士育成基礎コース

日時：2017年9月23・24日

会場：神戸常盤大学

② 認定歯科衛生士実技検定会

日時：2017年9月23日

会場：神戸常盤大学

③ ヘルスケアミーティング2017

日時：2017年10月8・9日

会場：秋葉原コンベンションセンター

④ 福岡ウイステリアセミナー

日時：2017年11月12日

会場：カンファレンスASC

⑤ 高松ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日

会場：高松市歯科医師会館 高松市歯科
救急センター

⑥ 仙台ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日

会場：ハーネル仙台

巻頭 あらためて認証制度の意義を問う p.1	フォーラム p.8
告知板 p.2	事務局から p.10
随筆6手 p.3	ヘルスケアミーティング2017 特別講演抄録 . . . p.11
ウイステリア Pro とアポイント管理職 III p.4	ヘルスケアミーティング2017 案内 p.12

あらためて認証制度の意義を問う

齊藤 仁 (コアメンバー・札幌市開業)



去る、7月2日、大阪千里サイエンスセンターにて第14回認証ミーティングが行われました。今年は西日本からのエントリーが多かったこともあって、初めて関西にて開催されました。大阪も前日までは比較的過ごしやすい気温だったようですが、この日は朝から蒸し暑く、外の熱気がそのまま会場に持ち込まれたような暑い認証ミーティングとなりました。

今年は例年と趣を異にして、午前には学会代表の杉山精一、副代表の藤木省三、齊藤仁の3人によるプレゼン、午後からエントリー医院による認証プレゼンと審査という二本立てで行われました。さらにお昼休み時間を利用して、フロアからヘルスケア診療や認証についての質問やアドバイスなどやり取りする「ランチのおじゃま」と題したランチョン企画が行われ、内容の濃い一日となりました。

午前の3人の発表については、学会のwebサイトを通じて外部に情報を発信するためにビデオ撮影を行いました。当日参加した会員も、参加できなかった会員も、そして会員以外の人たちにも日本ヘルスケア歯科学会とその認証制度について、知ってもらいたいという思いからの企画でした。

まず杉山代表から、日本ヘルスケア歯科学会とはどういう組織で、どんなことを行っているのか、そしてその活動の中の認証制度について、どういう意図で行われているのか、また具体的に認証までのステップについて藤木、齊藤で詳しく説明しました。

「学会の理念を再確認できた」

「ロゴマークにいろいろな思いが詰まっているのがわかった」

「認証診療所という意味がようやく理解できました」

「歯科医師単体を認証するのではなく、チーム診療室単位で取り組み、認証診療所になるのが目標であるのがよく理解できた」

「認証のためにドクターだけでなくスタッフ全員が大切なのだわかりました」

「認証をとった時がゴールではなくスタートだという言葉が印象的でした」

「認証は健康を守り育てる歯科医療を実践するためのツールであるという言葉が印象的でした」

終了後のアンケートではこのような感想が多く寄せられました。

「認証制度」というと他学会で行われているような「認定医制度」のイメージをもたれる方も多いのではないかと思います。この制度は目的がまったく違います。「患者の健康を長く維持できる診療を行っている」と認定した診療所を認証するものではありませんが、そのためには一つひとつクリアすべきステップがあり、そのステップを着実に踏むことで健康を守り育てる歯科診療、すなわち「病因論を理解し」「記録をとり検証しながら」「役割分担をし、医院全体がチームとして機能し」「長く患者と関わり続ける」を実践できる診療室が構築されていくものです。

認証医院を目指すということはすなわち、健康を守り育てる歯科医療を実践し、長く続けていこうという決意を示すことであり、その診療室のある地域の人々の口腔の健康を自分たちが守っていくという強い使命感の表れでもあります。

そういうと「ハードルが高い」と感じられるかもしれませんが、我々の学会はそもそもそういう診療をやりたいと考える人

たちの集団です。やりたいことをよりスムーズに行うために、この制度をうまく活用して欲しいと思います。

今回新たに、西村歯科（大阪府泉大津市）、こんどう歯科医院（兵庫県神戸市）、おおい歯科（大阪府岸和田市）、たんぼぼ歯科クリニック（長野県茅野市）、dental office おおとも（北海道札幌市）、カメラアデンタルクリニック（長崎県大村市）の6診療所が認証診療所となりました。同じ目的に向かって進むプロフェッショナルなパートナーとしての人間関係をスタッフとの間につくり、ともに学び、医院を作りあげ、患者アンケートという客観的なフィルターをくぐり、認証プレゼンにて先輩や外部審査員から新たな課題をもらい、認証医院として認められると同時に新たなスタートを切りました。この6診療所のみなさんには、これからも診療所において患者の健康を守り続けるのと同時に、認証の意義を後輩たちに伝え、ヘルスケアの輪を広げてもらいたいと思います。



ヘルスケアミーティング 2017

ポスター発表 10月8・9日 秋葉原コンベンションホール

担当・岡本昌樹

○6軒の診療所のエントリーがありました。ご期待ください。

林歯科医院（真岡市）

堀坂歯科医院（神戸市）

丸山歯科医院（深谷市）

まさき歯科医院（習志野市）

幕張ドルフィン歯科クリニック（千葉市）

若井歯科医院（江東区）

○第2回ヘルスケア実践セミナー

日時：

PART 1 2017年9月17・18日(日・月祝)
17日午後～18日正午

PART 2 2018年2月11・12日(日・月祝)
11日午後～12日正午

PART 1, PART 2 とも全日程で参加ください
「ヘルスケアの実際がよく理解できた」
「仲間ができた」「いいアドバイスがもらえた」と好評を博した宿泊型セミナーの2回目です。

場所：コスモスクエア国際交流センター
(大阪)

参加費：60,000～70,000円(予定)

※参加費に宿泊代・食事代を含む。

お問い合わせ：日本ヘルスケア歯科学会事務局 (center@healthcare.gr.jp)

○福岡ウィステリアセミナー

日時：2017年11月12日(日)

場所：カンファレンス ASC

参加費：1人目 20,000円
2人目以降 3,000円/人

※医院単位での参加費です。お弁当代を含みます。

※非会員の方も受講可能です。

○高松ワンデーセミナー

日時：2017年11月26日(日)

場所：高松市歯科医師会館 高松市歯科救急センター

参加費：会員歯科医師 8,000円
非会員歯科医師 12,000円
会員スタッフ 3,000円
非会員スタッフ 6,000円

※参加費はお弁当代を含みます。

○仙台ワンデーセミナー スタッフと学ぼう！ヘルスケア型診療導入セミナー

日時：2017年11月26日(日)

場所：ハーネル仙台

参加費(昼食代込)：

開業医 15,000円

勤務医・医局員 5,000円

スタッフ 3,000円(スタッフのみ参加の場合1人目は15,000円)

学生・研修生・大学院生 1,000円

※非会員の方も受講できます。

内容：歯科衛生士によるプレゼンなど



敬称略

手

浪越建男（三豊市開業）

6月上旬日曜日の深夜、出張から帰宅した私は少し注意力を欠いていた。駐車場に車を止め、後部座席から荷物を持ち上げドアを閉めた。次の瞬間声にならない悲鳴をあげその場に座り込んだ。荷物を掴んでいた左手の親指がドアに挟まっている。右手でドアをゆっくり開けて親指を抜いたが、指先はみるみる膨れ上がり、痛みで寝つけないうまま朝を迎えた。水曜日まではスケジュールの調整がつかず、診療用グローブの着脱を繰り返す度に激痛に顔を歪めながら仕事を続け、木曜日ようやく整形外科を受診した。

治療のおかげで日ごとに痛みは和らいでいったが、爪が剥がれている状態なので指先の感覚や動きがぎこちない。恋する乙女でもなかりうにと苦笑しながら毎日頻繁に自分の手や指先を眺め、爪の伸びるのを心待ちにしながらお盆休みを迎えた。

オリンピック番組を観ると、選手たちの手の動きや指先が妙に気になる。競技種目ごとに繊細であったり、力強かったり、日々の鍛錬や仕事は手の形や表情さえも変えている。そういえば毎年冬になると、いつも通りに診療室でしなやかに手を動かす歯科衛生士のグローブの下には手荒れやあかぎれがあり、母親の役割も果たしていることを告げている。

私の手や爪のかたちは母親似である。彼女の手も長年の家事や野良仕事で太く逞しくなっていて、「人前に晒すことをためらうよ」と笑う。そして私はその手を見ながら時々祖父の手を思い出している。

私の父方の祖父は、父親が小学校2年生の時に戦死した。母方の祖父は、80歳を越えても動物や植物に手間と時間をかけるという自分のライフスタイルを維持していた。祖父が毎日愛情を注いだ犬は、自宅を訪ねた客人を裏の畑にいる祖父のところまで案内するようになった。八百屋の軒先で安く売られていた小さな苗木は少しずつバランスが整えられ、やがて玄関周りや畑で、見事な庭木へと変化していった。そして年月をかけ育てられた蠟梅の畑は、訪れた人たちに春の色と香りを提供した。今になって思うと、自分が求めるものを作り上げるには、自分自身の手で時間をかける根気が必要だということを示していたことになる。

若い頃の辛く悲しい戦争体験や二十歳前の息子を事故で失った心境について、多くは語らなかったが、息子の面影が重なる私はとりわけ可愛がられた。大学に入学し一人暮らしをするようになると、別れ際に必ず「体を大事にしてな」と言いながら儀式のように右手で私の左肩を軽く叩いた。

近頃左肩を叩く祖父の手の圧が蘇り、それは時の経過とともに強く感じられるように思える。あの手に込められていた「健やかに過ごせ」という心からの願いを実感できる年齢になったのだろう。そして時々無言で息子たちの肩に手をのせている自分がある。

ウイステリアProとアポイント管理職を 使ってみよう！ III (その10)

藤木省三（日本ヘルスケア歯科学会副代表・神戸市開業）



*** 基本的な注意 ***

- ※ウイステリアなどのファイル名を変えないでください
- ※バックアップは毎日必ずとりましょう（日付ごとに一定期間分を残しましょう。上書きコピーはNG!）
- ※バックアップが必要なファイルおよびフォルダ*
 - ・ウイステリア Photo50
 - ・アポイント管理職3
 - ・来院履歴5
 - ・唾液量5
 - ・抜歯履歴5
 - ・処置履歴5
 - ・PerioAssistant5
 - ・XRAssistant111
 - ・〈NewFile〉フォルダ（ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ）
 - ※旧バージョンのウイステリアをご使用の場合はファイル名が一部異なります。

実際に検索してみよう！（1）

前回はウイステリアで検索する様々な方法をお伝えしました。今回からは、実際にいろいろなことを検索して調べる方法について何回かに分けて書いてみます。最初は歯科衛生士の担当患者の検索です。前回の最後に紹介した絞り込み検索（ショートカットキー：Macなら「command」+「R」、Windowsなら「Ctrl」+「R」）が役立ちます。

自分の担当患者はどれくらいいるのだろう？

ヘルスケア型の診療が定着してくるとメインテナンスの患者が増え、歯科衛生士の担当患者もそれに連れて増えてきます。検索をおこなうときは、メニュー画面から「集計」ボタンをクリックして（図1）、集計画面「検索（1）」でおこなうとよいと思います。

自分の担当患者数を調べるには、「検索モードへ」ボタンをクリックして検索モードにします（図2）。最近のFileMakerProだと、フィールド内に「虫眼鏡」のイラストが表示されるので、画面が検索モードになっていることがよくわかります（図3）。

検索モードの状態では、「担当者」フィールドをクリックして、ドロップダウンリストから自分の名前を選択します（図4）。そして、右にある「検索実行」ボタン（図2）をクリックします。すると右端の「該当数」のフィールドに求める人数が表示されます（図5）。

人数だけでなく具体的に一人ひとりの患者を振り返りたいときは、「該当数」の上の方にある右向けの「▶」のアイコンをクリックすれば、一人ひとりの名前を見ることができます。



図1 メニュー画面の「集計」をクリック

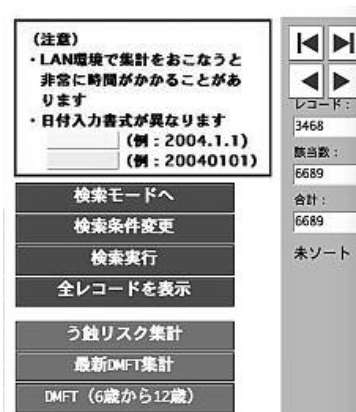


図2 画面右のボタン群から「検索モードへ」をクリック。



図3 検索モードでは、フィールドに虫眼鏡マークが表示される



図4 担当者フィールドをクリックするとドロップダウンリストがひらきます。検索したい担当者名を選択します。



図5 該当数に求めるレコード数（この検索では人数）が表示されます。



図6 検索時に入力した日付の表示形式がちがうとエラーダイアログが表示されます。[OK] をクリックして入力しなおします。

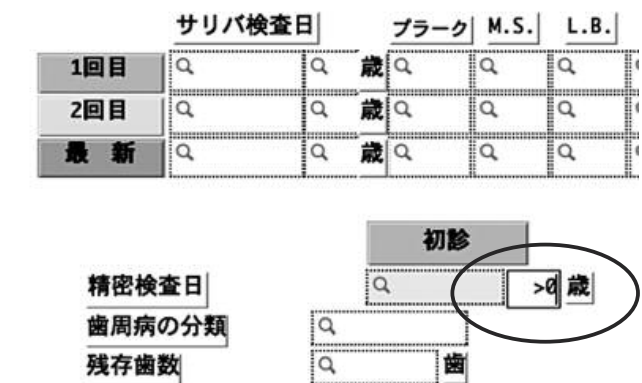


図7 検査時の年齢が0より大きい人を検索

担当患者の年齢別の人数を調べてみたい

「子どもの患者はどれくらいいるのだろうか？」など、年齢別の人数も簡単に検索可能です。先ほど自分の担当患者を調べた状態から、さらに年齢で絞り込んでいきます。

集計画面では、絞り込むためにはショートカットを使わなくても「検索条件変更」ボタンをクリックすればよいので便利です（図2）。「検索条件変更」ボタンをクリックした後、「初診時年齢」フィールドに希望する年齢を入力して、「検索実行」ボタンをクリックします。20歳未満と20歳以上だと図のようにして検索します。0歳から6歳、7歳から12歳というように範囲を決めたい場合は、「0..6」「7..12」のように数字の間に半角英数字のピリオドを3個並べます。

ここからさらに絞り込んで、「性別」フィールドを用いて男女比を出すことも可能です。

毎年どれくらいの新しい担当患者がいるのだろうか？

次に、毎年どれくらいの担当患者があるのかを調べてみましょう。検索に用いるフィールドは「初診日」フィールドです。ウイステリアでは、日付の入力は8桁の半角英数字でおこないますが、表示は「2017.8.5」のようにピリオドで区切られた日付フィールドの形式でされています。検索する際には、形式を間違えると警告がでてきます（図6）。この集計画面では、背景が水色のフィールドは8桁の数字、背景が黄色のフィールドでは日付の形式になっています（図2）。

昨年1年間の担当患者数を調べるには、検索モードにして、自分の名前を検索した後、検索条件を変更して初診日フィールドに「2016.1.1...2016.12.31」と入力して検索を実行します。

メンテナンスまでどれくらい達成できているのだろうか？

担当患者で気になるのは歯周治療ではないでしょうか。長く続いている患者さんもいれば、いつの間にかお見えにならなくなってしまいう方もおられます。その検索について考えてみましょう。

①歯周治療を始めた患者数

歯周治療を始めた人数を調べるには、精密検査をおこなったかどうかを調べることでわかります。調べ方はいろいろ考えられますが、ここでは初回の精密検査時年齢フィールドを使ってみます。精密検査時の年齢フィールドに数値が入っていれば、検査をしたこととなります。私がよくやっているのは、「>0」と入力して検索する方法です（図7）。

②再評価まで終了した患者数

歯周治療を始めても、様々な理由で来られなくなってしまう患者さんもおられます。歯周基本治療を終えて再評価までこられた患者数は、再評価時の年齢フィールドを使うとよいと思います（図8）。検索して人数だけ調べて「9割の人が来られている！」と終わってしまわずに、途中で来られなくなってしまう患者さんのことを調べてみるの方が重要かもしれません。

途中で来なくなってしまう患者の検索方法は、初診の精密検査時年齢フィールドに「>0」、再評価時の精密検査時年齢フィールドに「=」（空白調べる演算子）を入力して調べます（図9）。一人ひとりの状況を調べてみれば、予約が取りにくかった、RP時に痛みが出ていた、など原因を考察することができ、次に活かせると思います。

③メンテナンス達成の患者数

メンテナンスまで達成している患者さんの検索は、初診と最新の精密検査時年齢フィールドに「>0」を入力して検索実行すれば、理屈では正しく検索されるはずですが、しかし、現実には”入力ミス”という落とし穴が待ちかまえています。この場合だと、再評価の入力がなくて初診と最新だけのデータも混じてしまいます。

対策としては、初診、再評価、最新の3つの精密検査時年齢フィールドに「>0」を入れて検索することです。少しでも間違いが少なくなるような検索方法を常に考えておくことが大切です。

この場合でも再評価まで達成したがメンテナンスに來ていない患者も検索可能です。初診と再評価の精密検査時年齢フィールドに「>0」、最新の精密検査時年齢フィールドに「=」と入れて検索します。この時に、さらに歯周病進行度で絞り込むと、歯周病の進行度とメンテナンス受診率の関係がわかるかもしれません。

④メンテナンス継続年数

ウイステリアでは、再評価の精密検査日と最終来院日の二つの日付からメンテナンス継続年数を計算しています（図10）。このフィールドを使うと、メンテナンス継続年数3年以上のような検索が容易にできます（検索方法：メンテナンス経過年数フィールドに「>=3」と入力して検索）。

⑤直近の1年間に來ている患者

このような検索をしたときに、何年も前に来なくなってしまう人も含めてしまうと正しい結果を得たことにはなりません（もちろん、う蝕の発生などを調べるときには、

図8 初診と再評価に>0 と入力。

図9 初診に>0 再評価に=と入力。

図10 メンテナンス継続年数は自動で計算される。

図11 最新の来院日を利用して2015年8月1日以降に最終メンテナンスを受けている患者さんが検索する。

図12 最終来院日を利用して検索する。

既に来院されていない患者も含めて検索をかけることはあります)。最後に、直近の2年間に来院がある人の絞り込み方を説明します。その方法には2つの異なった方法があります。

a) 精密検査日を活用する方法

メンテナンスの際には毎回精密検査をする歯科医院では、最新の精密検査日を活用するのが一番簡単です。最新の精密検査日フィールドに「>=20150801」と週力して検索をおこなえば、2015年8月1日以降に最終のメンテナンスを受けている患者さんが絞り込まれます(図11)。

b) 最終リコールを活用する方法

メンテナンスの時に毎回精密検査を行えないこともあ

ると思います。そのような歯科医院では、最終来院日フィールドを活用しましょう。最終来院日フィールドに「>=20150801」と週力して検索をおこなえば、2015年8月1日以降に最終のメンテナンスを受けている患者さんが絞り込まれます(図12)。

今回の担当患者の検索は、やってみればいろいろと面白いことが見えてくると思います。わかり難いことがあれば、事務局まで質問をお願いします。場合によっては紙面でお答えします。



ウイステリア使用上の注意点 2

森 一弘 (アクセス代表)

前回に引き続き、「ウイステリア使用上の注意2」ということで、今回はハード的な注意事項についてです。

現在、ウイステリアユーザーほとんどの方は、平均パソコン5台前後のネットワークでの運用をされているようです。2台以上でウイステリアを使う場合は、ネットワークでの運用となり、必然的に「サーバー機」が必要になります。実はこの「サーバー機」に非常に単純な落とし穴があります。

当たり前のことですが、マウスとキーボードをつながないとパソコンの操作はできません。一般的に「入力装置」という呼び方をする部品ですが、必要に応じてパソコンに向かって信号を送って、文字を打ち込んだり、必要な動作をさせたりすることができます。実はこの当たり前が、時に「悪さ」をすることになります。

日頃の診療を思い浮かべてください。診療中は次から次と患者さんが来院されます。その合間を縫ってパソコンヘデータ入力もします。時にはちょっとだけパソコンの扱いが雑になったりもすることでしょう。院

内で右の写真のような状況があったりしませんか？

キーボードやマウスの上に資料などが置かれてしまった。机の上のスペース確保にキーボードを立て掛けたり、マウスを奥の方へ押し込んだ。こんな状況、診療室内で結構頻繁に起こっていないでしょうか？

この状況で、「上についた物の重みで」「立て掛けたり、押し込んだりしたときに、何かにあたって」キーボードのキーが、マウスのボタンが、押されればなしになり、ユーザーの意図しない信号がパソコン本体に送られればなしになります。

この状況を、サーバー機で起こしてしまうと、そのサーバー機につながっている全端末機のウイステリアが誤動作することがあるのです。入力ができなかつたり、ウイステリアそのものが立ち上がらなかつたり、押されればなしのキーやボタンによって、その症状は様々です。

基本的にこの現象を回避するには、ユーザーの方々に注意して扱っていただくしか方法はないのですが、日頃のバタバタとした診療室で確実に

このトラブルをなくす方法をご提案します。

それは

- ① サーバー機用のマウスとキーボードを無線接続の機種にする。
- ② そのどちらも、物理的なスイッチで電源の「ON」「OFF」が可能な機種を採用する。

これにより、診療中サーバー機が立ち上がっているとき、キーボードとマウスの電源を「OFF」にすることで、物が乗ったり、何かにあたりしても、サーバー機に信号が送られればなしになることを防ぐことができます。

USB接続のキーボードやマウスでその都度USBケーブル抜くということ



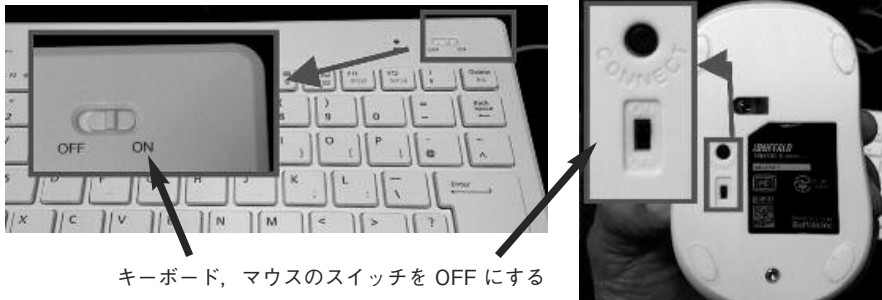
でももちろんいいのですが、ユーザー心理からして、現実的にはあまり適さないと思います。

ファイルメーカーサーバーを採用せず、ファイルメーカープロをサーバー機として、サーバー機でもウィステリアの入力などをされている医

院もあると思います。この場合は意識的に、こまめにキーボードとマウスの電源を「ON」「OFF」するしかありませんが、やはりベストな方法は、サーバー機にはファイルメーカーサーバーを採用して、サーバー機としてだけマシンを使用し、サーバー機

の起動中は終始そのキーボードとマウスの電源を切っておくという運用を強く推奨します。

ウィステリアユーザーの皆様、現状の各医院の状況を今一度確認されて、すぐにでも改善できる部分は見直しをしてみてください。



キーボード、マウスのスイッチを OFF にする

☆ アクセス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
 TEL. 0952-51-1776 ・ FAX. 0952-51-1767
 携帯 090-1920-7894
 URL <https://www.access-dental.jp/>
 URL <http://www.access-pcdoc.jp>
 E-mail kazu@access-pcdoc.com

ヘルスケア フォーラム

第 6 回ヘルスケア北海道例会

2016 年 12 月 3 日 札幌市中央区民センター

参加して



藤重元未 (歯科衛生士・
いいぬま歯科)

昨年 12 月 3 日に、第 6 回ヘルスケア北海道例会が行われました。

この例会では口腔内写真について各医院での発表とディスカッションを行いま



した。加藤歯科の宮坂さん、山田さんの発表はとても丁寧でわかりやすい内容で、特に新人の山田さんの、来年までに患者さんを持たせてもらえるように頑張りたい、という決意表明にはとても胸を打たれました。

私たち、いいぬま歯科の発表では、用意していたスライドが使用できずパニックになってしまいましたが、なんとか予定通り発表ができました。

「普段困っていること」として、写真を撮るとアポイント時間を超過してしまうという話をしましたが、そのことについて、時間短縮するためにはどうしたらよいかについてグループでディスカッションをしました。ここで様々な意見を頂戴したので、すぐに対応可能な部分は早



速取り入れたいと思いました。さいとう歯科室の生富さんの発表はとても見やすく詳しいスライドと濃い内容で圧巻でした。ミラーを拭き取る時間を短縮するという発想はまさに眼から鱗でした(それについてはさらに桜田歯科の方の裏技もとてもためになりました)。

ディスカッションではさらに、口腔内写真は何のために撮るのかについて話し合い、日々漠然と撮っていた口腔内写真について改めてその重要性に気づけたと思います。

最後に各医院で週明けからどうしていくかをまとめ、すぐにできそうなこと、話し合いが必要なことなど明確に考えることができました。

いつも会をまとめてくださっているさいとう歯科室の皆様本当にありがとうございました。



仙台ワンデーセミナー

2017年7月30日 ハーネル仙台

「ヘルスケア型診療導入セミナー～真のホームデンティストを目指そう！～」を受講して



後藤光成（歯科医師・
後藤歯科医院勤務）

7月30日にハーネル仙台で行われた「仙台ワンデーセミナー」に参加しました。実は2年前にも同じセミナーに参加しましたが、いずれも、日本ヘルスケア歯科学会会員であり大学の先輩でもある山本修平さんからの受講の勧めがあり、特に今回は山本さんが講師で発表をする、ということを知り、大学卒業以来に会えることも楽しみに再度参加しました。

藤木省三さんを始め5名の講師の方々から、「ヘルスケア型診療と従来型診療の違い」と「ヘルスケア型診療はすべての診療の土台となるもの」という基本的なことから、ヘルスケア型診療に重要な4つの鍵「病因論の理解」「患者と長くつきあう」「規格性のある記録」「チーム医療」について具体的に教えて頂きました。そしてそれぞれの講師の方から、ヘルスケア型診療を行うための医院作りをどう行ってきたかの体験談を、失敗やアドバイスを含めて、ときには動画もあり、笑いもありで、具体的に話して頂きました。また、特別講演として東北大学歯学部



予防歯科准教授の相田潤先生に「う蝕減少社会における歯科医院経営の健全化について」という内容でお話いただきました。歯科に関わる誰もが常識と知っていることを多角的に分析した結果、間違っているものをいくつか教えていただきました。そして「う蝕が減少し歯が残る時代こそ、定期健康管理型歯科医院が患者さんのためにも、歯科医院のためにも必要である」という話があったとき、まさに今学んでいるヘルスケア型診療の時代がこれから来るのだ、と実感しました。さらに職場ストレスモデルを用いて、「歯科医院においては院長とスタッフは裁量権の違いでスタッフのストレスは高くなりがち」という話もあり、気をつけようと思いました。

どの講師の方も、「ヘルスケア型診療所を作るにはスタッフと一緒に学んでいくことが必要で、その道のりはとても長いから、やり続ける覚悟と一緒に走る仲間が必要です。一緒に頑張りませんか？」と優しく言ってくださっていたのがとても印象的でした。

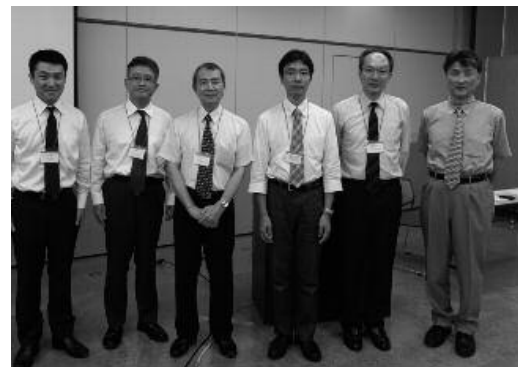
普段、大学では学べないようなリアルな話を聞いてよかった



伏見国拡
(東北大学歯学部5年)

特別講演をされた相田潤先生にお誘いいただき、この度初めてヘルスケア型診療導入セミナーに参加しました。もともと予防歯科に関心があったため、このようなお話が聞いてよかったです。学生だと参加費も格安なので、とてもお得でした(笑)

様々なお話を聞きながら、改めてヘル



スケア型診療とはどのようなものを理解することができました。また、開業中の先生方からの生の声をお聞きすることができたのがとても新鮮でした。普段大学では学べないような、よりリアルな話を聞いてよかったです。現在のスタイルを確立するために、スタッフとの摩擦など様々な壁にぶつかりながらもそれを乗り越え、現在の仕事にやりがいと誇りを持っている先生方や、生き生きと仕事をしているスタッフの方々の姿を見て、とても感動しました。

むし歯を減らしたり、むし歯にならないようにしたりすることは、従来の歯科医療の観点からすると、自分の仕事を減らすことにつながりかねないため、自分で自分の首をしめるようなものですが、患者さんのためにという信念を貫く先生方の姿がかっこいいなと思いました。そして実際に、むし歯を減らすことで歯が残るので、結果的には受診率をあげることに繋がったり、補綴治療は、保険点数が高いけれども、材料費を差し引くと意外とコストパフォーマンスが悪いというデータからもヘルスケア型診療に移行することは間違っていないのだと、将来に対して希望をもつこともできました。

幼少期にむし歯だらけだった子が通院する中でカリエスフリーの永久歯列を獲得したという症例からもその場限りの関係で終わらずに、一生患者さんの生活に寄り添っていけるのが歯科医師という職業の魅力だと思います。いまだ歯医者といえば、「痛くなったら行くところ」、「歯を直す大工さん」というイメージが根強

く残っています。しかし、歯医者イメージを「痛くなくても行くところ」というものに転換し、定期的に通い、歯とお

口の健康を管理するヘルスケア型診療に歯科医療全体がシフトしていくときだと思います。東北はヘルスケア型診療が普

及していないとのことで、それを広めていく核になっていきたいと思いました。



ヘルスケアウエスト研修会報告



丸山俊正 (福岡市開業)

2017年7月30日(日)福岡市朝日ビルディングにて第13回ヘルスケア・ウエストスタッフ研修会が開催されました。講師はあの「削るう蝕 削らないう蝕」の著者である伊藤中さん(伊藤歯科クリニック)と、同クリニックの二人の歯科衛生士さん(塩山さん、渡辺さん)にお願いし、「メンテナンスを重視した診療室を作り上げるための歩み」というテーマで1日ご講演いただきました。

冒頭、う蝕や歯周病へのアプローチを野球にたとえ、縁上、縁下の感染のコントロールや初期病変の石灰化をバントのように攻守(補綴や外科処置とホームケア)のつなぎを担う重要な役割であると解説されました。

講演は、メンテナンスの理論的背景として、う蝕や歯周病の疫学からマイクロバイーム、多因子疾患としてのう蝕や歯周病のリスクコントロールへと解説頂き、ライフステージごとのリスクアセスメントについても細かくご教授いた

き、伊藤歯科クリニックでの実際のデータの解析も交え、非常に濃密な内容となっていました。

歯科衛生士の塩山さん、渡辺さんからは、口腔内写真の撮影時の注意点から、実際に伊藤歯科クリニックでお二人が施術した症例までご提示いただき、新人時代の先輩とのやり取りや患者とのコミュニケーション内容まで赤裸々に語っていただきました。

懇親会では、前日に行われたソフトバンク vs 日本ハムの一戦(講師陣は前日ヤフオクドームにて観戦)の話から野球談義に花が咲き、伊藤さんが南海ホークス時代からのホークスファンであることも発覚し、ほとんどがホークスファンのヘルスケアウエスト会員にとって忘れられない熱いワンダホーな夜になりました。

ヘルスケアウエスト研修会報告



吉末果央 (歯科衛生士・まるやま歯科)

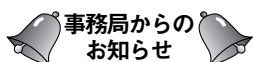
今回のヘルスケアウエストセミナーでは、私と同じ年齢で歯科衛生士歴も同じお二人が発表されるということで、どの

ような発表内容なのか楽しみで参加しました。

口腔内写真の撮り方から、SRPや歯周病検査、シャープニングなど細かく勉強、研究されていて、私と同じ年齢の歯科衛生士とは思えないような内容でした。

特に、次回行うSRPの部位の形態の予習を書いたノートは素晴らしかったです。また、SRPをした後に先輩歯科衛生士のチェックが入ることに驚きました。患者さんの口腔内に触れる前に、先輩歯科衛生士による徹底的指導がされていることに羨ましさを感じる反面、ヘルスケア型歯科医院に就職してその高いレベルについていくのは大変な苦勞があるのではないかと感じました。

私はその真逆の立場で、新規開業したばかりの医院で、これからヘルスケア型歯科医院を作りあげていく側です。教えてくれる先輩歯科衛生士がいないことはもちろんのこと、失敗して気づいて直すことの繰り返しで診療に追われてきた日々でした。歯科衛生士歴は同じだけれど、今まで過ごしてきた4年間の内容は同じようで違うようにも感じました。しかし互いに目指している歯科衛生士像が同じであることに変わりはなく、すごく刺激を受けると同時に励まされた気持ちになりました。私も自分が目標とする歯科衛生士になるためにこれからも日々の診療に努めていきたいと思います。



市販子ども用歯みがき剤ガイドを更新!

2017年5~6月に購入できた22品種について、①フッ化物配合の有無、②フッ化物配合であればフッ素濃度を調査した報告に基づいて作成しました。

1セット(200枚) 2,900円
(非会員の方も購入可能です 1セット 3,500円)



「変化を診るメンテナンス」

日時：2017年10月8・9日（日・月祝）

抄録

10月9日 9:40～10:50

口腔内マイクロバイオームの代謝機能：「何がいるのか？」から「何をしているのか？」へ

高橋信博（東北大学大学院歯学研究科 口腔生物学講座口腔生化学分野 教授）



OMICS 技術の進歩に伴い口腔マイクロバイオーム研究は新しい時代に入った。特定の細菌を対象とする時代から、構成細菌の網羅的分析（何がいるのか？：メタゲノム解析）の時代へとシフトし、さらに代謝機能の網羅的分析（何をしているのか？：メタボローム解析）へと展開しつつある。

口腔マイクロバイオームは、口腔部位によって特徴的でありながらも調和した代謝機能を持ち「健全な常在菌叢」を形作る。しかし、その代謝機能のバランスが崩れるとう蝕や歯周炎を発症する。

歯肉縁上プラークには、主にミュータンスレンサ球菌以外のレンサ球菌やアクチノマイセスが生息する。これらの細菌は糖代謝による酸産生によって酸性環境を形成し、さらに酸性環境に適応することによって酸産生能を増強し、う蝕を発症させる。確立した酸性環境は、耐酸性能の高いミュータンスレンサ球菌や乳酸桿菌の定着を促進し、う蝕を進行させる。一方、歯肉縁下プラークにはフゾバクテリウムやプレボテラが生息する。これら

の細菌はタンパク質・アミノ酸代謝によってアンモニア・硫化物・短鎖脂肪酸を産生し、炎症を惹起すると共に環境 pH を中性にする。この環境は、栄養要求性が高く酸性環境に弱いジンジバリス菌に適しており、その結果、ジンジバリス菌の定着を促進し、歯周炎を進行させる。

このように、う蝕や歯周炎の発症プロセスは、特定の細菌種に原因を求める「特異的プラーク説」よりも、マイクロバイオームを生態系と捉え環境との相互作用の中で病原性が発現するとする「生態学的プラーク説」に適合しており、プロセス進行の主たる駆動力は代謝機能である。

「何をしているのか？」、すなわち口腔マイクロバイオームの代謝機能が明らかになれば、健全な共生 (symbiosis) から病的な状態 (dysbiosis) へのプロセスが理解できる。プロセスが理解できれば、より有効な予防や治療はもちろんのこと、より有効な薬剤や食品の評価・開発も可能となることが期待できる。

10月9日 11:10～12:00

根面う蝕を知る——う蝕管理のターゲットは歯冠部から歯根部へ

福島正義（新潟大学大学院医歯学研究科口腔保健分野 教授）



近年、フッ化物応用の普及と口腔衛生行動の変容などにより現代型う蝕といわれる小児および若い世代の歯冠う蝕は減少・軽症化している。一方、有歯顎高齢者の現在歯数は増えている。多くの歯が残れば歯周疾患に伴う歯肉退縮によって歯根面が露出し、古代型う蝕といわれる根面う蝕の増加が懸念される。とくに要介護高齢者、放射線口腔乾燥症患者や訪問歯科診療の現場などで見られる成人のランパントカリエスである多発性根面う蝕の対処に苦慮していることが聞かれる。歯根部のセメント質や象牙質はコラーゲン主体の有機成分を含み、脱灰臨界 pH はエナメル質より高い。これはエナメル質う蝕のリスクが低くても、根面う蝕にはかかりやすいことを意味している。また、根面う蝕の進行には無機成分の酸脱灰と有機成分のタンパク分解が伴うため、エナメル質う蝕の予防法が必ずしも根面う蝕の予防に効果的とはいえないように思われる。歯の長寿化が進むなかでう蝕の予防

と治療は歯冠部（エナメル質）から歯根部（セメント質・象牙質）に目を向ける時代が来ている。

根面う蝕の多くは日常的に清掃性の悪い隣接面歯頸部からの発生頻度が最も高いといわれている。しかし、視診によるう蝕の発見が歯冠部う蝕に比べて困難である。とくに、う蝕が歯肉縁下に及んだ場合や隣接面歯頸部に存在する場合はう蝕病変が確認しづらい。そのため、修復処置において窩洞形成中に歯肉出血させたり、原発う蝕を取り残しやすく、窩洞外形の設定に迷うことが多い。また、歯周ポケットからの滲出液や唾液に対する防湿が困難であるために修復操作も困難である。そのため、一般臨床での修復物の予後は修復材料の選択よりも術者の修復技術に依存するところが大きいと思われる。したがって、う蝕の修復処置よりも歯肉退縮の主因である歯周病の予防メンテナンスを基盤にした非侵襲的な予防・慢性化療法の治療戦略を優先的に考えるべきである。

変化を診るメンテナンス

ヘルスケアミーティング 2017

メンテナンスって… 変化を診ることだったのだ!

2017年10月8・9日(日・月祝)

秋葉原コンベンションホール (千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 2F <http://www.akibahall.jp/index.html>)

10/8 開場 12:30 開会 13:30

13:30 趣旨説明：杉山 精一
 13:35 変化を診るために：藤木 省三
 14:20 変化を診るために必要な実践例から：高橋 啓
 15:10 休憩
 15:25 中期症例を経験して気づく変化とは：千草 隆治
 15:55 長期症例からみえてくること：藤木 省三
 16:40 質疑応答 (座長：藤木)
 17:00 交流会 (同会場にて)
 ~18:10
 18:30 懇親会 (TRATTORIA Alioli : 秋葉原 UDX 1F)
 ~20:30

参加費	会員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	8,000 円
懇親会	4,500 円	
申込登録をした学生・研修医	無料	

10/9 開場 9:00 開会 9:30

9:30 趣旨説明：杉山 精一
 2016年のカリエスリスクアセスメントの見解
 9:40 講演1：高橋 信博 (東北大学大学院歯学研究所 教授)
 口腔マイクロバイオームの代謝機能
 「何がいるのか？」から「何をしているのか？」へ
 10:50 休憩
 11:10 講演2：福島 正義 (新潟大学大学院医歯学研究所 教授)
 根面う蝕を知る
 ーう蝕管理のターゲットは歯冠部から歯根部へ
 12:00 昼食休憩
 13:00 認証診療所、認定歯科衛生士、ポスター表彰など
 13:20 変化を診るためのカリエスリスクアセスメント：杉山 精一
 13:45 診療室でのカリエスマネジメントその1：田中 歯科クリニック
 14:30 休憩
 14:40 診療室でのカリエスマネジメントその2：さいとう 歯科
 15:25 ディスカッション (座長：杉山)
 高橋 信博 福島 正義 齊藤 仁 田中 正大 杉山 精一
 16:10 閉会

お知らせ・ご注意

- ・お申し込み FAX 受理後、事務局より振り込み案内をお届けします。振り込み手数料はご負担ください。
- ・事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返金します。但し9月末日以降の場合は、ご返金できませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ…

下記申込み欄にご記入後、事務局まで FAX または郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104

一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会事務局

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716 <http://www.healthcare.gr.jp/>



PC, スマートフォン, ケータイからもお申し込みいただけます。

参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news20-4)

ヘルスケアミーティング 2017 参加申込み (会員専用)

(必要項目ご記入、該当欄に✓印を記入ください)

フリガナ ご氏名	会員番号: <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	フリガナ ご氏名	会員番号: <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
フリガナ ご氏名	会員番号: <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他	フリガナ ご氏名	会員番号: <input type="checkbox"/> 会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 会員その他 <input type="checkbox"/> 懇親会 <input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 <input type="checkbox"/> 非会員その他
勤務先・診療所名	参加申し込み人数	合計金額	
住所 〒 -	電話番号 -	円	
	FAX 番号 -		